

みしま



この町を守る。

写真 / 三島町消防団春季閲覧式は 4 月 25 日
に町民運動場で行われ、団員の皆さんは各
種点検や訓練などを受けました。

2010

5

広報みしま No. 206

「奥会津振興センター」誕生

三島町・柳津町・金山町・昭和村・只見町の5町村が連携を取り合い、地域活性化を目指す「奥会津振興センター」が4月2日、三島町民センターに事務所を設置し、同日開所式が行われました。



(写真左から) 井関庄一柳津町長、馬場孝允昭和村長、齋藤茂樹三島町長、小椋正南会津地方振興局次長、目黒吉久只見町長、古市正二会津地方振興局次長、押部源二郎金山町副町長

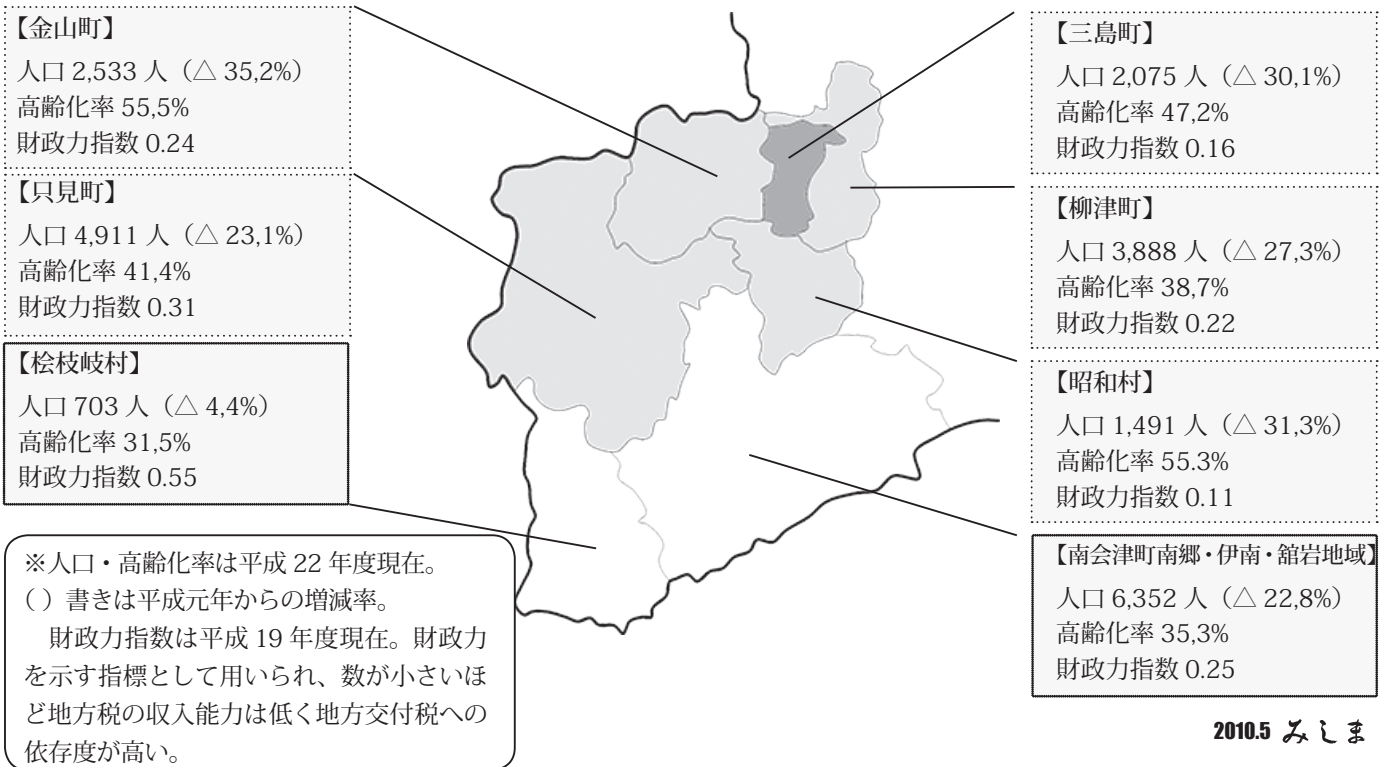
奥会津振興センター 設立の背景と趣旨

「奥会津振興センター」に参加する5町村をはじめ、松枝岐村、南会津町南郷・伊南・館岩地域で構成される只見川電源流域振興協議会は、平成元年より奥会津全域の地域活性化を目指し、各種事業に取り組んできました。

奥会津地域は、各町村共に過疎・少子・高齢化といった共通の課題を抱える中、豊かな地域資源の活用や産業の振興、雇用の場の確保や交流人口の増を目指し、地域づくりを行ってきました。

同協議会は今年3月に新編「歳時記の郷・奥会津」活性化計画を取りまとめ、今後の目標として、大きく3つの柱を掲げました。その一つが、奥会津の連携を強化するための「奥会津振興センターの発足」です。

奥会津の現状

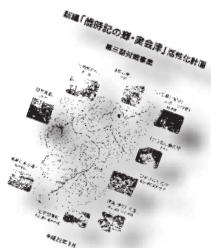


奥会津振興センターでは、地域連携の柱となる事務局の機能を持つと同時に、地域住民の暮らしが向上するための各種取り組みも担っていきます。

また、奥会津全体のPRや雇用創出、交流人口の増など、奥会津振興センターの役割は多岐にわたり、奥会津地域活性化の要となります。

奥会津の地域づくりの目標

「新編「歳時記の郷・奥会津」活性化計画より」



奥会津振興センター ～地域連携による暮らしの向上～

- ・只見線や二次交通をもっと便利に
- ・奥会津で共通の案内標識を作成
- ・地域の人たちと話し合いの場を
- ・只見川や伊南川の活用を推進
- ・奥会津全体のPR

奥会津大学

～地域の人材育成、地域学の確立～

- ・奥会津の案内人を養成
- ・地域の後継者を育成
- ・「奥会津だより」の継続
- ・地域文化の記録、保存
- ・聞き書きの継続

奥会津振興公社

～地域産業の確立～

- ・農家民泊、体験旅行の受け入れ体制の整備
- ・農林業と商業や加工業との連携
- ・目的をもった来客メニューの整備
- ・都市住民への田舎暮らし体験や定住促進

事務局員紹介

三島町に設置された奥会津振興センターの事務局には、6名のスタッフが配置され、県との連絡も密にした体制で今後の奥会津の地域振興に向け取り組みます。事務局員の方の今後の意気込みをご紹介します。

センター事務局長 五十嵐 政人 (三島町)



奥会津振興センターは、只見川と伊南川流域の地域課題を持ち寄り、県をはじめとする関係機関と一緒に課題解決をしていきます。これまで21年間の取り組みを総括し、その反省と成果を再確認して、奥会津のブランドを確立するために設置されました。地域の皆さんと一緒に取り組んでまいりますので、ご意見をお寄せください。

センター事務局次長 齋藤 誠 (県会津地方振興局)



旧会津高田町の出身で、県職員として会津地方振興局から派遣されました。田島の林業事務所、会津大学、うつくしま未来博、畜産課、生活環境部を経ての着任です。県職員になる以前、JTB勤務などもしておりました。内示があつてから、日を追うごとにこの仕事の重要性と可能性の大きさを感じ、体の芯から発熱しているところです。1つでも2つでも皆さまとともにプラスの成果を出していきたいとはりきっています。

事務局員 渡部 洋人 (金山町)



金山町では、主に観光イベントと林業関係の事務を担当していました。金山町で学んだことを基に、4町村の地域振興策を学びながら各町村の良いところを5町村に広めていきたいと考えています。なお、奥会津振興センターでも森林環境を担当することになりました。職員全員で奥会津の活性化に向け頑張りますので、奥会津のいろいろな情報をお寄せください。

事務局員 目黒 清志 (柳津町)



柳津町では、昨年までは主に観光イベントや観光施設の維持管理を担当していました。温泉が好きでいつか奥会津地域すべての温泉を制覇したいと思っています。特につるの湯の大ファンで、露天風呂から眺める只見川と山々は奥会津の魅力が詰まった心と体を癒すパワースポット。奥会津の魅力を多くの人に伝えファンを増やし、そして地域の笑顔が少しでも増えるよう力を合わせて頑張ります。

事務局員 山内 康次 (昭和村)



昭和村では、昨年まで国保年金を担当していました。今回全くの初めての仕事内容に戸惑いつつも、三島町役場のみなさんや奥会津振興センター職員の心の温かさで支えられ、やりがいを感じております。こう見えても、センター職員の中で一番の若輩者ですが、若さを生かして奥会津振興センターの仕事を通して、町民、村民のみなさまとも協力し合いながら奥会津の活性化のために頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局員 五十嵐 貴則 (只見町)



4月から奥会津振興センターに勤務することになりました、只見町の五十嵐です。只見町は、町振興のテーマとして「ブナとともに生きるまちづくり」を推進し、平成19年7月に「自然首都・只見」を宣言し、自然資源を生かした地域づくりに取り組んでいます。今後とも奥会津地域における各町村との連携強化を図り、広域的な奥会津振興に力を尽くしていきたいと考えています。

みしまの出来事

身近な情報をお寄せください。——企画財政係 ☎ (48) 5515



三島保育所入所式。みんな元気いっぱいです



三島小学校入学式。皆さん少し緊張しているようです



三島中学校入学式。新一年生は凛とした表情で式にのぞんでいました

大きな一歩、新たな一歩

三島保育所入所式 三島小、三島中入学式

子どもたちの新たな出発を祝う三島保育所の入所式が 4 月 3 日、三島小・中学校の入学式が 4 月 6 日に開催されました。

保育所の入所児童は「ほし・ばら・はと組（年長・年中・年少）」の 25 名と「もも組（3 歳未満時）」5 名を含む計 30 名で、お父さん・お母さんと手をつなぎながら元気に入所式に参加しました。

三島小学校の新 1 年生は、3 月に保育所満了を迎えたばかりの 11 名です。少し緊張した面持ちのお兄ちゃんお姉ちゃんになった子どもたちの姿を保護者のみなさんは写真やビデオに収めていました。佐藤新治小学校長から「みんなであいさつ、しっかり後始末、ルールや友達を守るとい『みしま運動』を大切に学校生活を送ってください」と子どもたちへのメッセージのこめられた式辞を述べました。来賓祝辞では齋藤茂樹三島町長、角田伊一三島町議会議長が新入生たちの新たな出発を祝いました。

三島中学校の入学式では、真新しい制服に身を包んだ 9 名の新 1 年生に、佐久間雄彦中学校長から「今の初々しい気持ちを忘れずに、自ら学ぶ姿勢と思いやりの心を持ち、そして心と体を鍛えて、将来の夢に向けしっかりと生活してください。」と新たな中学校生活に向けての式辞がありました。来賓祝辞では齋藤茂樹町長が「三島中学生としての自覚と誇りを持ち、お互いに助け合い励まし合いながら立派に成長してください」と述べました。また、新入生代表として本名将くん（西方）が新入生誓いのことばを述べ、中学校生活に向けての抱負を語りました。

子どもたちそれぞれが、夢と希望をもった新しい生活が始まり 一歩ずつ大人への道を歩んでいきます。

弦哲也の FTV カラオケグランプリ 出張予選会 in 三島町 4 名が予選通過



小松ユミ子さん（西方）



五十嵐幸子さん（大谷）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



会場になった交流センター「山びこ」には当日 200 名を超える来場があり、にぎわいました。

4 月 6 日「弦哲也の FTV カラオケグランプリ出張予選会 in 三島町」が開催され、多くの町民が来場しました。当日は五十嵐幸子さん、菅家三吉さん、小松ユミ子さん、諏訪義幸さんの 4 名が予選を通過しました。全 20 名の参加者が自慢の歌声を披露し、最後は弦哲也先生の歌でフィナーレを迎えました。



小松ユミ子さん（西方）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



諏訪義幸さん（宮下）



小松ユミ子さん（西方）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



諏訪義幸さん（宮下）



小松ユミ子さん（西方）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



諏訪義幸さん（宮下）



菅家三吉さん（荒屋敷）



諏訪義幸さん（宮下）



(写真左から)伊東勝美委員、長谷川四平委員長
五十嵐光榮委員長職務代理、坂内アイ子委員

委員が変わりました 三島町選挙管理委員

三島町選挙管理委員会の奥村吉雄委員長が平成22年4月15日付をもって退職され、長谷川四平さんが選任されました。また、新規に伊東勝美委員が任命されました。円滑な選挙のためにご尽力をお願いします。その他の委員は以下のとおりです。

委員長職務代理者＝五十嵐光榮、選挙管理委員＝坂内アイ子



つるの湯前で記念撮影する若松三島会のみなさん

ふるさと三島町を訪問 若松三島会、三島町内を散策

三島町出身で、若松在住の方々と構成される若松三島会（栗城嘉昭会長）は4月18日、春の三島町を探访する事業で17名で町を訪れました。オープン翌日の「のんびり館」を視察されたのち、森の校舎「カタクリ」で昼食をとり、西隆寺の乙女三十三観音を見学、早戸温泉つるの湯でふるさと三島町での時間を満喫していかれました。

手作り作品がずらり 小柴敏子の針仕事展

「いまここカフェ」にて4月23日～25日に、小柴敏子さん（西方）の作品が展示・販売されました。小柴さんは19歳の頃から洋裁を始め、以来60年以上、作品を創り続けてきました。仕事や農作業の合間に作られたこたつ掛けやベッドカバーをはじめ、バッグや巾着などが並べられました。会場には町内外から多くの方が訪れ、作品に魅入っていました。また小柴さんを先生に「ティッシュ入れの作り方体験」も行われ、幅広い年齢層の方が針と糸を手に参加、お手製のティッシュ入れを作りました。



熱戦を繰り広げる参加者たち

小柴敏子さん（写真右）と展示された手作り作品（写真下）



熱いプレーを展開 いまここネット主催のフットサル大会

フットサル大会は3月30・31日、カタクリ体育館で開かれ、白熱した試合が行われました。【大会結果】①川口高校（4勝1敗）②天然酵母使用ミルクパン（3勝2敗）③こんにちは、こんにちは、こんにちは、ありがとう（3勝2敗）④シシカバブー（2勝3敗）⑤川口蹴球軍1勝3敗1分）⑥保護者チーム（1勝4敗）

春、こころ引き締めて 三島町消防団 春季検閲式



↑検閲を終え、齋藤茂樹統監に終了報告を行う金子喬消防団長（写真中央）

➡三島町消防団が所持する車両についても点検が行われました。

三島町消防団春季検閲式は4月25日、町民運動場で行われました。齋藤茂樹統監の訓示を受けた後、団員のみなさんは閲団、点検、訓練などを受けました。式全体に渡って各団員ともびきびとした動きをみせ、防火に向け気持ちを引き締め一日となりました。なお、退団幹部にはそれぞれ感謝状が贈呈されました。



交通ルールとマナーを学ぶ

三島小学校 交通安全教室



線路の渡り方を確認する児童たち

三島小交通安全教室は4月16日に行われました。児童たちは実際に外に出て、歩くときと自転車に乗っているときの横断歩道の渡り方や道路の安全な歩き方、ルールの違いについてひとつひとつ確認していました。日常生活における安全を確認して、交通事故に十分注意しましょう。

三島保育所 親と子の安全教室



岩崎智美主任少年警察補導員による講話の様子

親と子の安全教室は4月22日に三島保育所で行われ、保育所児童と保護者の方が参加しました。会津坂下警察署の岩澤智美主任少年警察補導員、三島駐在所の松本哲巡查長が交通安全や防犯について図や紙芝居を用いて分かりやすく説明しました。その後ビデオが上映され、子どもたちは急な飛び出しや自転車の安全な乗り方を学びました。

のびのびとした 子どもたちの反応に 感動しました。

すずらん文庫主宰

渡辺順子さん



子どもたちに布の絵本を読み聞かせる渡部順子さん

3月25日にすずらん文庫主宰の渡辺順子さんが「絵本に触れる、心に触れる」というテーマで講演を行いました。その時に子どもたちと触れ合い、感じたことを送っていたきましたので、ここに紹介します。

感想の中で渡辺さんは、三島町の子どもたちがなぜ健全で、のびのびと成長しているのかを語られています。

町民センターの図書コーナー・「ゆめぽけっと」のりんごの木（タペストリー）は、春というのにきつと今頃は、たわなに実っていることでしょう。

私が奥会津・三島町を訪ねたのは、第9回「全国編み組工芸品展」終了直後の3月25日でした。非常に残念に思っていましたら、生活工芸館で片付け中の作品群を見せていただき感動しました。記念にお米とぎ用ザルを購入させていただき、以来毎日愛用して

います。一粒のお米も流失せず、とき汁も庭の植物にかけて有効活用できています。自然素材を活用し、手を使って生活用品を作り、大切に使いこんでいく暮らしこそ、大量生産、大量消費、大量廃棄で地球環境問題を抱えている、21世紀の人間の生き方に、問題提起するものがあるのではないのでしょうか。今回の三島町訪問であらためて人間の「生き方、育て方」の原点を考えさせられて帰ってきました。

訪問目的は三島町教育委員会主催（後援 福島県の子育て応援事業）の読書講座でした。講演テーマは「絵本に触れる 心に触れる」サブタイトルは手づくり小物から布の絵本へとということで、当日は原作の絵本紹介もしながら「手づくり布の絵本」を三島保育所児全員と大人たちに読み聞かせをしました。手づくりのプルタブ蛇作りもしました。布の絵本は取りはずした

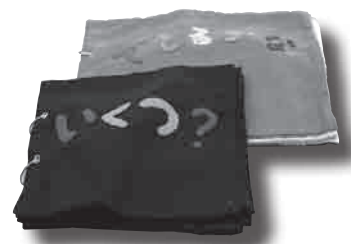
り付けたり、1ページごとに子どもたちとのやり取りがあります。どのページも元氣のよい、のびのびとした子どもたちの反応があり感動しました。健全に育っていることを確認でき「ほっと」しました。私自身未来への希望をいただきました。同時になぜ三島町の子どもたちが、このように健全な育ちをしているのか？考えさせられました。一人ひとりの子どもが「育つ環境」として、あの豊かな奥会津の大自然があり、大人たちの手作りの心があり、町おこしの取り組みが（道の駅で「奥会津だより」の他「奥会津学」購入）あることを知りました。地域おこしはまさに地域の「人育て」です。私の当日の講演レジュメと資料は「人育ての原点」確認からでした。つまり、今私たちはハイテク時代に暮らし、デジタル思考で生活をしています。しかし、「生命」と向き合うとき（育児、教育、介護など）はアナ

ログ思考が問われ、ローテク・スローライフに切り替え、ハイテク暮らしと峻別（しゅんべつ）する重要性があります。なぜならスピーディな現代社会だからといって、妊娠10カ月を5、6カ月に短縮はできません。生物の一員としての人間は、例えば0歳は0歳時代という人生完結なのです。首が座り、寝がえりをうち、はいはいができ、伝い歩きを経て人間としての「二足歩行」が始まります。同時に人間としての「言葉」も始まります。その言葉を豊かにする手段として、講演では絵本の選比方、楽しみ方のポイントもお伝えしました。

課題は三島町で育った子どもたち、若者たちが、三島町で自立できる経済基盤が整備されなければ過疎化は止まらないでしょう。このことは全国的課題です。「桐の里」三島町ならあの豊かな山林を育て、活用することを本気で考えてほしい。自然との共生を求める都会の若者もいます。三島町に人口が流入する位の施策を打ち出してほしい。21世紀のありようを、全国に問題提起するモデルケースを、三島町から発信していただきたいと願っています。その力、条件はあると感じて帰りました。グ

ローバル経済の時代ですから、すぐに実現は厳しいと思いますが、人間の生きる原点・地域おこしの原点を確認しながら、その基本の方向付けはしていただきたいと願っています。

すずらん文庫 渡辺順子



↑布でできた本は「ゆめぽけっと」で読むことができます。

PROFILE

渡辺順子

（わたなべ・じゅんこ）

1973年、東京練馬区にすずらん文庫を開設。以来、人を結び地域を結ぶグループ育児を応援している。北海道生まれ。法政大学法学部卒業。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

《本の紹介》

図書コーナー運営ボランティア
北館 緑さん（西方）

●利用時間 月～土 9:00～21:00

日・祝 9:00～17:00

●お休み 年末年始

☎ 教育委員会 ☎ (48) 5599

ふくろうのそめものや

日本民話 山口マオ・絵
すずき出版

昔、からすは真っ白でした。ある日、ほかの鳥たちがふくろうの染物屋に体をきれいに染めてもらうのを見て、からすもきれいに染めてもらおうとしたのですが・・・。

幼児向け



中学生向け

HOOT（ホー）

カール・ハイアセン・著 千葉茂樹・訳
理論社



中学校でいじめに遭っているロイ。アナホリフクロウを守ろうと建設現場で事件を起こす謎の少年。ロイは、少年と事件に巻き込まれていく・・・。

沈まぬ太陽

山崎豊子・著
新潮社

国民航空の労働組合委員長だった恩地は、海外へ左遷させられ10年ぶりに帰国。そこに「国航ジャンボ機墜落事故」が発生、恩地は遺族係に回されるが・・・。

一般向け



小学生向け

みんなぼくのもの！

ネーレ・モースト・文
アネット・ルードルフ・絵
いけだかよこ・訳
西村書店

何でもほしがる、からすの子。友達のおもちゃを次から次へと自分のものにしてしまいます。でも、カラスの子は友達が一番大切なことに気づいてきます。

ご寄附
ありがとうございました

三島町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

栗城正男様(宮下)
二瓶勝男様(大谷)
五十嵐善徳様(浅岐)
高垣穂晴様(川井)
小平廣市様(西方)
片山一雄様(桧原)

一般の寄附

小柴敏子様(西方)

ふるさと納税
ありがとうございました

渡辺和子様

(会津若松市)

吉戸勝様

(神奈川県横浜市)

首都圏三島会

酒井孝喜様

(群馬県中之条町)

春色のてみやげ下げて旅の人
風香る手技の里に角隠し

諸井まさ子

歳時記 萌の会

4月1日付採用

三島町役場の新人を紹介します



総務課 企画財政係 主事

いがらし まさる
五十嵐 優

22歳 会津若松市出身

幼いころから何度も訪れていた三島町ですが、このたび縁あって役場に勤めることになりました。主に広報誌とお知らせ版の発行、統計調査を担当しています。まだ至らぬ点ばかりですが、町のために力を尽くしていきたいと思っています。

○趣味 読書、旅行
○好きな言葉 曲なれば即ち全し、枉なれば則ち直し



産業建設課 産業建設係 主事

くろさわ としき
黒澤 寿樹

22歳 会津若松市出身

以前宮下地区に住んでいた、約15年ぶりに三島町に帰ってきました。所属は産業建設課で、主に住宅関係と建築を担当しています。町民の皆さまの生活を守るお手伝いができるように努めていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○趣味 フットサル
○好きな言葉 日々精進

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では3月中、
刑法犯は発生しませんでした。

毎月26日は 「ツーロックの日」です

県警では、平成22年1月から、毎月26日を「二重ロック(ツーロック)の日」として、自転車盗被害防止のため各種団体と連携を図り、ツーロックの浸透を図っています。

二重ロックの被害率は被害全体のわずか0.3%です。シリンダー錠またはプレス錠と、壊れにくいワイヤー錠やハンドルロック、サドルロックをかけるなど、二重ロックを心掛け、自主防犯に努めましょう。

街頭犯罪発生状況(3月末現在)

区分	管内	三島町
空き巣狙い		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	1	
自販機狙い	1	
車上狙い	2	
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	5	0
全刑法犯	26	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

麻しん(はしか)対策はお済みですか

～予防接種をおすすめします～

※麻しんは春ごろに流行ります。4～6月の間に受けましょう。また、対象の方は無料で予防接種を受けることができます。

◎定期予防接種の対象者

- ①満1歳の方
- ②小学校入学前(1年間)の方
➡平成18年度より接種回数が2回になりました。
- ③中学校1年生に相当する方
- ④高校3年生に相当する方
➡これまで1回接種だった方が対象になります。

麻しんは2回の予防接種が必要です

▶麻しんについて・・・

麻しんは、10日ほどの潜伏期間の後、発症します。高熱、せき、鼻水などの風邪のような症状が現れた後、体中に赤い斑点が出現します。

肺炎や脳炎など重症化する場合もあり、非常に感染力が強い病気ですが、予防接種を受けることによって発症、重症化を予防することが期待できます。

☎三島町役場 町民課健康保健福祉係 ☎ 48-5565

火災報知機設置のお願い

- ①各寝室に1個
- ②2階の寝室へ通じる階段

平成23年6月1日までに報知機を上記の箇所に設置することが法律によって義務付けられています。取り付けていない方は早めの設置をお願いします。

火の取り扱いについて

三島町は5月19日に無火災2周年を迎えます。無火災を継続していくためにも、ガスコンロの使用中にその場を離れたり、ストーブを着けたまま給油するなどの行為は避け、就寝前に火の元を点検するなどして、防火に努めましょう。

☎ 会津坂下消防署三島出張所 ☎ 52-3032

新しい先生が着任しました

新任医師紹介

この 紺野 武彦先生
たけひこ
○専門分野 内科、外科
○出身大学 自治医科大学



皆さんはじめまして。

4月から県立宮下病院に着任しました紺野と申します。

早速、自己紹介をさせていただきますが、出身は福島市飯坂町で平成13年に栃木県の自治医科大学医学部を卒業しました。

自治医大で2年間の初期研修後、南会津広域市町村圏組合地域医療支援センター、只見町国保朝日診療所を経て、平成19年にかねてから興味を持っていた脳神経外科の勉強のために自治医大に戻り、昨年、脳神経外科専門医を取得しました。

宮下病院で脳外科の手術や専門的検査をすることは無理なのですが「脳外科にかかりたい(かかっている)けど若松まで行くのは遠い」「とりあえず近くで診て欲しい」というご要望があれば、可能な限りお応えしたいと思いますので、ご相談いただければと思います。また、専門にかかわらず内科・外科とも幅広く診察させていただきますので、ご遠慮無くお話しください。

三島町での勤務は初めてですが、眼下を流れる雄大な只見川や周囲の山々を見ると、心のふるさたである奥会津に帰ってきた感じがします。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



↑開所式に先立ち、テープカットが行われました。

(写真左から) 栗城佐合同会社「たすき」代表、角田伊一町議会議長、丸山征紀
会津若松建設事務所長、齋藤茂樹町長、栗城隆彦宮下区長

宮下の新しい拠点へ

「のんびり館」がオープン

オープンに向け準備をすすめていた、宮下地区の「のんびり館」が4月17日にオープンし、同日開所式が行われました。

式の中で、のんびり館を運営する合同会社「たすき」の栗城佐代表(宮下)は「定住促進と、地域住民の交流の場としてお役にたてればと思います」とのんびり館運営の熱意をのぞかせていました。

のんびり館は旧丸角旅館を県産木材や桐をふんだんに利用し改修した建物です。宿泊料金は素泊まり1泊4,000円、1泊2食付き7,000円で、地元で採れた食材をふんだんに使った、おいしい郷土料理で宿泊客を迎えてくれます。

●のんびり館 ☎ 42-7008

これからの行事予定 town schedule

5月18日(火)

社会福祉協議会理事会 10:00 ~ 福寿草
社会福祉協議会評議員会 13:30 ~ 福寿草

6月3日(木)

民生児童委員協議会定例会 13:30 ~ 福寿草

6月6日(土)

志津倉山開き

6月12日(土) ~ 13日(日)



↑昨年の工人まつりの様子

ふるさと会津 工人まつり

全国各地から工人が集まり、作品を展示即売します。三島の工人たちの手技を見て触れて体験して、職人の世界を感じてみませんか。

みんなで健康づくり

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

足腰げんき教室 (室内運編)

6月 8日(火) 13:30 ~ 町民センター

ヘルスアップうんどう教室

5月19日(水) 13:30 ~ 町民センター
6月10日(水) 13:30 ~ 町民センター

足腰げんき教室 (水中運動編)

5月25日(火) 13:00 町民センター集合
西会津町民プール

ヘルスアップえいよう教室

5月27日(木) 13:30 ~ 町民センター

三島町の人口と世帯 (4月1日現在)

人口	2,059	-15	出生	0
男	969	-5	死亡	4
女	1,090	-10	転入	8
世帯	846	-3	転出	19

※住民基本台帳による数値です。